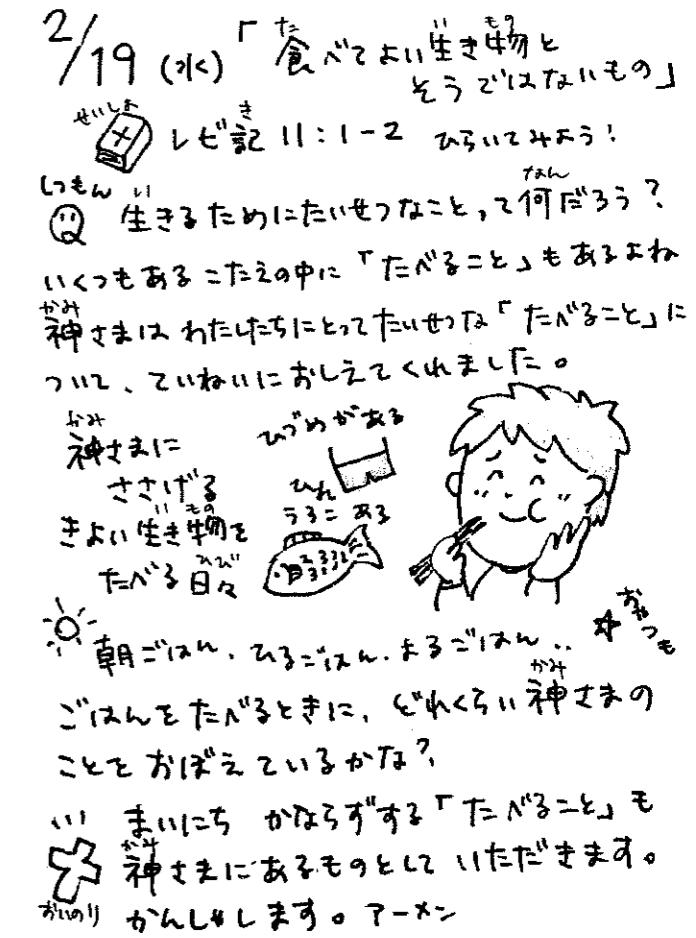


なまえ



2月20日(木) レビ記11:24,25,44

ヨキサについて

**ヨキサ①** 感染を予防すること、されど、よじれて生物(やくせい)にさわってしまった時など、どうすればよいのか詳しく書いてあります。



**ヨキサ②** あなたがたは...聖なる者とならなければならぬ。ゆくからごまゆる。聖

神さまは、きよいおかげにならぬ。イスラエルの民も、きよを守りなければならぬ。神さま、あなたからあなたへられたいとからだをよく守ることや、できようより!! アーメン

2/21(金) 子をうむ女のきよめ  
レビ記 12: 4, 6 ~ 7

このかしょでは、子をうんだ母おやは出産のときにながれる血によせてがれるので、①きよめられる必要があることと②きよめのためにどうすればよいかおしえているんだ。

⇒いまのぼくたちには何をおしえてくれるの?

- ・かんせんにきよいかけられると、かんせんに近づくためにはきよくなければならないこと
- ・かんせんはぜんじょうのささげものとなってくれたイエスをとおして、ぼくたちはかけられると、かんせんに近づくことができる
- ・イエスは、ぼくたちをきよめてかけられると、かんせんに近づけるものとしてくれてあります。

2/22(土) リアラアトってなあに?

ヨリ→レビ記 13:1~3

「リアラアト」は病気のなまえたよ

- ・ひふにできるよ
- ・その部分の毛が白くなるよ
- ・その部分がひふより多いところに見えるよ

聖書には「リアラアトにかかる人の話がいくつもてくるよ。

イエスさまはあわれんで「わたしのひだきよくなれ」といわれいやされたよ

イエスさまはどんな人もきよくすることができるからです

2/23(日) 病の見分け方

モーセの時代、薄荷は疫者の役割をしていました。

